

平成 15 年 12 月

日本温泉科学会第 56 回大会

---

特 別 講 演

---

## 大分県温泉管理基本計画について

大分県生活環境課

佐 伯 久

### Policy of Hot-Spring Management in Oita Prefecture

Hisashi SAIKI

Oita Prefecture

大分県は、別府八湯、湯布院をはじめ有名温泉地が多く、源泉数は約 4,700 カ所と第二位の鹿児島県の約 2,800 カ所を大きく引き離して全国トップにあり、湧出量も全国トップの座を占めている温泉立県です。特に別府市は、市内に源泉が 2,800 本、湧出量も約 9 万 5 千リットル/分と豊富な温泉資源を有し、さらに宿泊施設約 400 施設、年間宿泊者 400 万人と日本でも最大の温泉地を形成しています。

しかし、大分県でも掘削技術の進歩によって、これまで温泉が湧出していなかった地域で温泉が活用されるようになり、地域によっては温泉の使いすぎによる湧出量の減少や泉質変化など、資源衰退の懸念も出てきている状況にあります。温泉事業者や掘削事業者を対象としたアンケート調査でも、温泉の衰退傾向について 3 割近くが湧出量の減少や温度低下などを感じ、9 割が資源保護の必要性を感じている一方で、資源保護の具体的な取り組みを行っているのは 2 割に止まっている状況です。

このため、大分県では、全国一の源泉数を誇る温泉の保護を図るとともに、今後における有効利用を進めるため、その方策として全国に先駆けて「温泉管理基本計画」を策定を行ったものであり、専門家らで構成する温泉管理検討懇話会を設置し、二年間の審議を経た後に、従来よりも一歩踏み込んで温泉資源を保護する姿勢を明確に打ち出しました。

本講演では、この「温泉管理基本計画」の概要を紹介します。

なお、「大分県温泉管理基本計画」＜概要版＞をご希望の方は、下記宛て請求ください。

〒870-8501 大分市大手町 3 丁目 1 番 1 号

大分県生活環境部生活環境課

電話：097-536-1111（内線）3018，FAX：097-532-7671